

蘇る建築展

2025.3.7 (FRI) — 3.14 (FRI)

会場：文化のみち榎木館
入場無料 (要入館料200円)

主催：文化のみち榎木館 / 協力団体：株式会社 Plan・Do・See、HBA / ハーシュ・ベドナー・デソシエイツ、株式会社 フラムス、株式会社 乃村工務社 A.N.D.、株式会社 阿波三松園、
design farm DRIP、株式会社 / ム建築設計室、株式会社 TEDDY&Anchor、Tokyo pm.、THE FUJIIYA GOHONJIN、株式会社 PDS Atelier



フォーチュンガーデン京都 (島津製作所旧日本社ビル)

建築の継承と再利用—Plan・Do・See の施設を通じて

建築的創作行為としての「リノベーション」の歴史的意義を見直し、近代的建築史観を再考する。

建築の長い歴史からみれば、既存建築の再利用（リノベーション）はきわめて重要な建築的創造行為であった。

Plan・Do・See にみられる数々の既存建物の再利用の事例を

各設計事務所・デザイン事務所が手掛けた作品を豊富な図版、文章、写真で紹介する。



Event

講演会「造園から見た Plan・Do・See の建築史」

3.9 (Sun) 午前 11 時～ 予約不要、参加無料（要入館料） 当日先着 40 名程度



株式会社 阿波三松園
代表 庭師 三浦嘉之

1943 年 10 月 18 日徳島に誕生
庭師池田信一氏、山田一夫に師事し 1970 年に阿波三松園を設立。
商業施設、レストラン、ホテル等の造園設計施工の他、イベントのインсталレーション、まちづくりアドバイザー等を務める。

ナビゲーター

株式会社 PDS Atelier 代表 深山雅行

1978 年千葉県生まれ専門学校 桑沢デザイン研究所・リビングデザイン研究科 卒。GRAPHICS & DESIGNING INC.
ほかデザイナー等を経て 2010 年（株）Plan・Do・See に入社、2024 年株式会社 PDS Atelier 設立、代表就任。

文化のみち榎木館 館長 香川絢子

広島県出身。2006 年、（株）Plan・Do・See に入社。京都、名古屋で勤務。400 年続く名古屋最古の料亭の若女将として活躍。名古屋を拠点に和食の文化、接客業、日本の伝統文化を盛り立てるべく邁進する毎日過ごす。

Visitor information

会場：文化のみち榎木館 入館料：200 円（中学生以下は無料）
月曜休館（祝日の場合は翌平日）開館時間：午前 10 時～午後 5 時

〒461-0014 名古屋市東区榎木町 2-18 ☎052-939-2850

交通案内：地下鉄桜通線「高岳」下車、1 番出口より北に徒歩 10 分、
駐車場はございません。公共交通機関でのご来館をお願いいたします。

Address: 2-18 Shumoku-cho, Higashi-ku, Nagoya 461-0014

Opening Hours: 10:00 AM - 5:00 PM

At Takaoka Station on the Sakura-dori Subway Line and walk north 10 minutes

Closed: Monday "or Tuesday if Monday is a holiday"

Admission: Free (Museum entry fee: 200 yen; Free for junior high school students and younger)



文化のみち榎木館

Cultural Path Shumoku Museum

旧井元為三郎邸

MAP



URL

